

## 新庁舎の完成予想模型・完成予想図を展示中

新庁舎建設基本設計の完了を受け、新庁舎の完成予想模型と完成予想図(パース)を展示しています。イコーゼ!で完成予想模型を展示しているほか、イコーゼ!・やすらぎ園・本庁舎・分庁舎にA2サイズの完成予想図(パース)を掲示しています。

各施設には基本設計書の概要版も設置していますので、併せてご覧ください。(基本設計書の概要版は、他にも4地区公民館や町ウェブサイトでも閲覧可能です。)

基本設計書には、建物の位置・向き、構造、外観の方向性など、新庁舎の大枠について記載しています。ぜひお立ち寄りのうえ、完成予想模型や完成予想図と併せてご覧ください。



新庁舎の完成予想模型

新庁舎建設については、基本設計をもとに、設計事業者と協力し、更なる費用圧縮をはかり、実施設計を行っていきます。町民アンケートやパブリックコメント、説明会等で皆様からいただいたご意見を踏まえながら、更に検討を進めていきます。



イコーゼ! 玄関ホール



やすらぎ園玄関ホール

## 新庁舎建設設計の詳細について掲載していきます

町民皆様のご意見をいただきながら、新庁舎建設基本設計が完了しました。今後の新庁舎ニュースでは、基本計画・基本設計における6つの理念に沿って、実施設計の進行状況も折り込みながら、設計の詳細について随時掲載していきます。(裏面上側をご覧ください。)

理念① 災害に強い防災拠点となる庁舎

理念② 町民すべてに優しく気軽に訪れやすい庁舎

理念③ 事務効率の良い庁舎

理念④ 桑折町らしい庁舎

理念⑤ 長寿命で費用(ライフサイクルコスト)の少ない庁舎

理念⑥ 町民集いの場となる庁舎

## 新庁舎コラム 新庁舎の6つの理念①

### 「災害に強い防災拠点となる庁舎」①：新庁舎の災害対応全般

新庁舎は、地震や豪雨などの大規模な災害が起きた時に、体制を確立し、迅速に対応ができるよう、災害対策本部や一時避難機能を備えた施設として整備を計画しています。

庁舎2階の庁議室は、平時は会議室として利用しますが、災害時には町長を本部長とする災害対策本部の部屋として、情報収集、状況把握、避難の要請や指示、勧告などを行う拠点となります。

新庁舎ではこれらの機能確保のため、以下の内容を計画しています。



非常用発電機

1	建築構造	鉄筋コンクリート造りの耐震構造とし、通常の1.5倍の耐震性とする
2	電気設備	停電時には非常用発電機や太陽光発電装置により一部の電気を確保する
3	情報通信設備	県防災システム、国交省システム、町防災無線等により関係各所と連携する
4	給水設備	上水道2系統引込みと受水槽での貯水の他、既存井戸水や備蓄水を利用する
5	排水設備	屋外に災害時仮設トイレ（マンホールトイレ）を数か所設置する
6	備蓄	災害対策用品（災害対応業務・庁舎維持等）の保管倉庫を設ける
7	避難	町民ロビー等は、一時避難所としても利用できるスペースとする

## 新庁舎コラム 新庁舎建設の財源と今後の町財政の見通し

新庁舎建設の財源については、新庁舎建設基本構想・基本計画の中で、基金、町債・交付税措置、補助金を挙げています。

基金	平成9年度に「庁舎建設基金」を設置し、約20年間積み立てを進めてきました。昨年度末の時点で、10億円の基金残高となっています。
補助金	現時点で太陽光発電、地中熱利用関連、木質利用関連の補助金利用を検討しています。求められる庁舎像に適合する補助金を積極的に活用していきます。
町債・交付税措置	熊本地震等を受け昨年度に創設された「市町村役場機能緊急保全事業債(町債)」を活用します。平成32年度までの庁舎建設について、町債の返済に対し、国から数億円の財政措置(交付税措置)が受けられるようになりました。

このうちの町債の返済については、今後の町全体の財政見通しとの関連が重要となります。今後の変動状況としては、次のものが想定されます。

公債費の今後の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>公債費(町債の返済額)については、醸芳中学校や保健福祉センター建設分返済が終了するなど、返済のピーク期を越えている状況です。(昨年度の町一般会計全体の公債費は約4億3千万円)</li><li>新庁舎建設による追加の公債費は、国からの財政支援により、実質で年間約4千万円に抑えることができます。</li></ul>
町の歳入増加要因	<ul style="list-style-type: none"><li>町の中長期財政計画では、現在進行している町内企業の工場増設、震災による固定資産税減免の終了等により、年間約4~6千万円程度の町税増加を見込んでいます。</li><li>災害公営住宅を整備した自治体への国財政支援で、年間約5~7千万円が今後町に交付される計画となっています。</li></ul>

今後においても、長期的な見通しを持って、費用の低減化に更に努めながら、新庁舎建設の検討を行って参ります。